

卒業前でも実践すべき



参考：厚生労働省「高校生就職ガイダンス」



4つの

大人マナー



就職活動がはじまると対面するのは社会人ばかり。

高校生と言えども相手に合わせて大人のマナーを守る必要があります。

最低限、就職活動で実践すべきマナーはしっかりと身に付けておきましょう。

1

自分から挨拶して名乗ろう！

人に会ったら挨拶をすること。誰かと話すときは自分から「〇〇高校の〇〇と申します。」と名乗ること。会社を訪問したときの態度は意外といろいろな人にチェックされているものです。面接時間以外でも、会社の人と話す機会があったら自分から挨拶してしっかり名乗ることを意識して行動しましょう。

2

ぎこちなくても敬語で話そう！

就職活動で出会う人は年上で社会経験のある目上の人ばかり。話をするときは必ず敬語を使いましょう。多少ぎこちなくても無理に難しい表現はせず、丁寧な言葉遣いをすることから始めましょう。少なくとも、友達と話すような言葉遣いをして目上の人が不快な思いをすることがないように注意して話すことが大切です。

3

電話は要点をまとめて丁寧に話そう！

電話にも大人のマナーがありますから、相手に失礼がないように次の5つのポイントを参考にしてください。

①電話をかける前に何を話す(聞く)のか要点をまとめておく。②メモを用意しておく。③丁寧に名乗り、担当者に取り次いでもらう。④大事なことはメモを取り、聞き取りにくかったならしっかり確認する。⑤用件が済んだら丁寧に挨拶をして静かに電話を切る。

4

大事なときは携帯電話を切っておこう！

当たり前のマナーですが、面接中や会社見学中などの大事な時間帯は、携帯電話の電源を切っておきましょう。もしも電源を切り忘れて面接中に電話が鳴ってしまったら、「すみません。電源を切り忘れていました。」と謝り、すぐに電源を切りましょう。間違ってもその場で電話に出てはいけません。

人生の最大の敵、それは鈍感である。

—— 野村 克也 (元プロ野球選手・元監督〈ヤクルト・阪神・楽天〉) ——